

2024年11月5日

関西デジタル・マンス実行委員会  
公益社団法人 関西経済連合会  
関西広域連合  
総務省 近畿総合通信局  
経済産業省 近畿経済産業局  
一般財団法人 関西情報センター  
独立行政法人 情報処理推進機構  
独立行政法人 中小企業基盤整備機構

## 「KANSAI DX AWARD 2024」受賞企業決定について



関西デジタル・マンス実行委員会(事務局:関西経済連合会)は、関西のDX推進の機運を醸成するため、「関西デジタル・マンス」を創設し、官民が連携しながら様々な取り組みを実施しております。

その一環として、この度、DXの先進事例として特に優秀と認めた企業を表彰する「KANSAI DX AWARD 2024」を開催し、受賞者を下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 受賞企業

＜グランプリ＞	コマツ株式会社および同志社大学
＜金賞(大企業部門)＞	ダイハツ工業株式会社 ダイドーグループホールディングス株式会社 住友電気工業株式会社
＜金賞(中堅中小企業部門)＞	株式会社パーシテック 株式会社高速オフセット IXホールディングス株式会社
＜近畿総合通信局長賞＞	株式会社eWeLL
＜近畿経済産業局長賞＞	株式会社ゲートジャパン

※受賞者の概要と受賞理由については、**別紙**をご参照ください。

以上

- ・参考資料：関西DX戦略2025 ～「カベ」を越えて目指すDX先進地域～  
(URL) <https://www.kankeiren.or.jp/material/221221houkokusho1.pdf>



# KANSAI DX AWARD 2024

## 受賞企業

# KANSAI DX AWARD 2024 概要

## 1. 趣旨

- 関西の企業のDXの取り組みを表彰することで、当該企業のDX推進を後押しするとともに、取り組みを広報することで他企業のDX推進を後押しし、機運醸成を図る。
- 優良事例の選定・公表を通じて、関西の各地域内や業種内での横展開を図り、企業間交流の促進による中堅・中小企業等におけるDX推進及び各地域での取組みの活性化につなげていく。

## 2. 各賞一覧

各賞	表彰内容
<b>グランプリ</b> (1社)	総合的に最も評価の高い企業を表彰する
<b>金賞(大企業部門)</b> (3社)	大企業から、総合的に評価の高い企業を表彰する
<b>金賞(中小企業部門)</b> (3社)	中堅・中小企業から、総合的に評価の高い企業を表彰する
<b>近畿総合通信局長賞</b> (1社)	ICTを利活用し、地域の魅力向上・活性化につながるDXの取り組みを評価する
<b>近畿経済産業局長賞</b> (1社)	地域経済の活性化に貢献し、地域のモデルとなるようなDXの取り組みを評価する

## 3. 募集対象

- ・福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、徳島の各府県に本社又は事業所を置く企業（上記地域に本社がない場合は、上記地域に所在する事業所の取組みのみ応募可）
- ・事業規模等の制約なし。
- ・自薦/他薦ともに受け付けることとする。

# 審査体制

- 審査委員長：慶應義塾大学 医学部 教授 宮田 裕章 氏
- 審査委員：関西デジタル・マンス実行委員会メンバー（下表のとおり）

団体名	審査委員
関西経済連合会	常務理事 産業部長 久米 一郎
関西広域連合	本部事務局 次長 西島 由美
総務省近畿総合通信局	情報通信部 情報通信連携課長 猿田 達彦
経済産業省近畿経済産業局	地域経済部次世代産業・情報政策課長 土屋 貴史
関西情報センター	常務理事 竹中 篤
情報処理推進機構	理事 奥村 明俊
中小企業基盤整備機構	近畿本部 企業支援部 企業支援課長 國本 真之介

# KANSAI DX AWARD 2024 受賞企業

賞	表彰対象企業
グランプリ	コマツ株式会社および同志社大学
金賞 (大企業部門)	ダイハツ工業株式会社
	ダイドーグループホールディングス株式会社
	住友電気工業株式会社
金賞 (中堅・中小企業部門)	株式会社パーシテック
	株式会社高速オフセット
	IXホールディングス株式会社
近畿総合通信局長賞	株式会社 e W e L L
近畿経済産業局長賞	株式会社ゲートジャパン

# グランプリ：コマツ株式会社および同志社大学

## 【企業・大学概要】

- ▶ コマツ株式会社：1976年に創業し、東大阪市で、インテリア設計、施工、資材販売名等、インテリア事業の全般をメインに事業展開。従業員21名。
- ▶ 同志社大学：1875年、京都に設立された同志社英学校をルーツとする、14学部・16研究科で構成される総合大学。

コマツ株式会社

×

同志社大学

かべひた

壁紙AI識別アプリ



## 【主な取組み】

- ▶ **産学連携により、画像認識AIを活用した課題解決に挑んだ。**
- ▶ **大手資材メーカーや競合企業6社から理解、協力を得て、自社に蓄積された専門知識と、同志社大学の学術的先端技術を集結し、素材表面の微細な差異を識別要素にする「自動テキストチャ識別プログラム」を開発し普及品壁紙の品番識別に成功、アプリ化した。**
- ▶ 識別課題解決からアプリ化にあたり、**コマツ社内にDXソリューション事業部を新設**。アプリ開発に携わり、**同志社大、協力会社とシームレスに連携する体制を整えた。**

## 【受賞理由】

- ▶ 産学連携によるAI活用、新事業創出、競業企業との協力が素晴らしく、インテリア業界全体における長時間労働や人材不足の解消等、社会課題解に寄与するDXのモデル事例である。

# 金賞（大企業部門）：ダイハツ工業株式会社

## 【企業概要】

- 大阪府池田市に本社を置く自動車メーカー。1907年(明治40年)の創業以来、「世界中の人々に愛されるスモールカーづくり」を使命と考え、国内外で幅広い市場に展開。
- 地域にも光を当てた社会課題解決や社会貢献活動にも注力している。



## 【主な取組み】

- 福祉施設がそれぞれ単独で行っている送迎業務を集約し、地域一体で乗り合い、各施設に通う**「福祉介護・共同送迎サービス ゴイッショ」を開発**。
- 複数の施設、利用者、車両などの条件を考慮し、最も**効率的な乗合計画をAIで自動作成**。地域一体で**効率的な運行を行うことで、業務の効率化を実現**。利用施設は、送迎から解放された時間を活用し、生産性向上を図ることができ、**本来の介護サービスにより集中できる環境を構築**。持続的な介護サービスの実現に寄与する。

## 【受賞理由】

- 共同送迎サービスは介護施設の人材不足解消と働き方改革に貢献しており、交通DXいわゆるMaaSの好事例。社会課題解決に繋がり、サービスの横展開やプラットフォーム化に期待。

# 金賞（大企業部門）：ダイドーグループホールディングス株式会社

## 【企業概要】

- 大阪市北区に本社を置く、ダイドーグループの持株会社。自販機を中心にコーヒーなどの清涼飲料を展開する国内飲料事業や医薬品関連事業、食品事業に加え、トルコなどへの海外飲料事業を展開し、持続可能な経営や地域貢献にも取り組み、国内外での事業の幅を広げている。

こころとからだに、  
おいしいものを。



## 【主な取り組み】

- 「DX推進とIT基盤の構築」を経営課題の一つに据え、ビジネスイノベーショングループを中心にDX推進体制を構築。2024年5月に生成AI等のデジタル技術により働き方をサポートする「D-Brain」を始動。
- 「事務作業、倉庫作業、現地作業」という担当者一人の経験と勘に頼っていた自販機オペレーションを、分業・オンライン化・AI需要予測を導入して大きく変革し、効率的な運営を実現した。
- ダイドードリンクの販売統括部が中心となり、基盤構築や全国営業所への浸透活動を行っている。

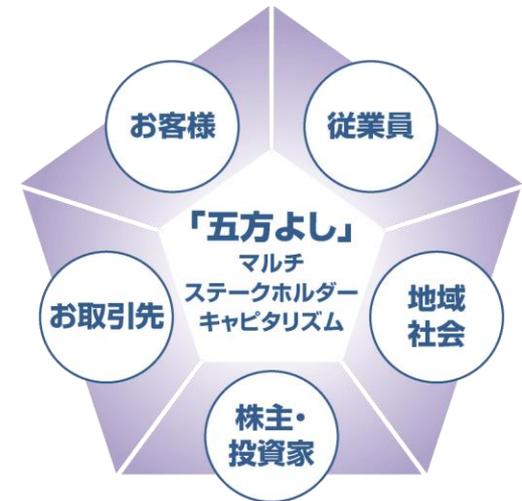
## 【受賞理由】

- 担当者の経験と勘に頼っていた自販機オペレーションを、AIを活用した新たなオペレーションに置き換えること（トランスフォーメーション）で成果に結びついている。全社ビジョン、DX推進体制の構築、DX認定取得、社内変革への取組は他社も参考になる取り組みである。

# 金賞（大企業部門）：住友電気工業株式会社

## 【企業概要】

- 1897年に設立された大阪府大阪市に本社を置く非鉄金属メーカー。電線、光ファイバー、電子機器など多岐にわたる製品を提供している。グローバルに展開しており、国内外に多くの拠点・従業員を持ち、持続可能な社会の実現に向けた技術革新を推進している。



## 【主な取組み】

- 2021年4月に**社長自らが委員長となって「DX推進委員会」を設立**し、全社的なデジタルトランスフォーメーションを進めている。**全部門に「DX推進責任者」を任命し、横断的な「DX推進実務者委員会」を形成**。2024年7月時点で70名が選任され、159の「部門DX計画」が策定された。
- 「全社DX基盤」は「モノづくり力強化」「サプライチェーン強化」「働き方改革」を柱に、データ活用と人材育成を通じて効率的な取り組みを推進している。

## 【受賞理由】

- 社長自らがリーダーシップを発揮し、組織的なDX推進に取り組んでいる。業務効率化、生産向上性が図られており、製造業企業において参考となる取り組みである。

# 金賞（中堅・中小企業部門）：株式会社パーシテック

## 【企業概要】

- 2016年に設立された京都府京都市のスマート農業支援サービス事業者。農業のIoT化を進めるビジネスモデルの提案、デジタル機器と名人技を融合させた、新しい農業の提案により、高付加価値な農産物の育成を実現し、後継者育成を展開する。



## 【主な取り組み】

- 実家の果樹農園を継承するにあたり、足腰の弱くなった父親の技能をどのように伝承するか？という自身の課題からスタートしたもの。
- センサーメーカーやスマートグラスメーカーと共に運用実証実験など協力関係を構築。**ARを駆使した遠隔作業支援ビジネスやドローンによる遠隔映像確認、農薬散布等のサービス**を開始。
- 高齢者の技能伝承課題に寄与するだけでなく、**遠隔収穫体験等の新しいサービスも展開**。

## 【受賞理由】

- 農業にARやドローン等最新技術を積極的に導入し生産性を高める取り組みとして評価。技能伝承等の地域の課題解決にも寄与している。観光ビジネスにつなげた横展開性も評価。

# 金賞（中堅・中小企業部門）：株式会社高速オフセット

## 【企業概要】

- 1986年に設立された大阪府大阪市の印刷事業者。
- EC・通販事業、デジタル事業も展開しており、クリエイティブ事業においては、官公庁や自治体をはじめ、各種企業のオフライン／オンライン媒体を手掛けている。



## 【主な取組み】

- 観光冊子やSNS運用を通じて「日本の良さを世界に知ってもらいたい」という想いがあり、インバウンド需要の高まりを受けて新たなサービスの構築を模索。2022年に**デジタル事業室を新設し、営業部、企画編集部、制作部の連携を強化**。
- 店頭で手書きをなくし、**海外向けの配送伝票をデジタルで出力する「ハコボウヤ」という電子伝票サービスを日本郵便と連携して開発**。
- 現在、**国内の配送伝票をDX化する取り組みも進めている**ところ。

## 【受賞理由】

- インバウンド需要に着目し、自社の強みや技術を活かしてサービス開発された成果を評価。小さな不便を解決することで地域経済に大きな効果をもたらすものとして期待。個別の小売店では対応が難しいものをデジタルの力と関係者の連携で解決に寄与している。

# 金賞（中堅・中小企業部門）：IXホールディングス株式会社

## 【企業概要】

- 三重県伊勢市に本社とする持株会社。「おにぎりせんべい」を主力製品とする「マスヤ」を中核に、菓子製造や酒類製造、介護事業、ホテル、ブライダル、商社、旅行業など多種多様な事業を展開している。



## 【主な取組み】

- コロナ禍の影響で、従来のビジネスモデルでは成長が難しいと判断し、デジタル技術の活用に着目。**DX推進のために経営ビジョンを策定**し、「シェアードサービス」、「オープンイノベーション」、「デジタルリテラシー向上」の3つの戦略を立案。**グループCIOを設置しデジタル事業本部を立ち上げDXを推進**。
- 従来のカスタマイズされたシステムから**SaaSへの移行を決意し、業務にシステムを合わせる姿勢を強化**。
- コミュニケーションの円滑化やペーパーレスの浸透等、**グループ横断的にDXを推進**。

## 【受賞理由】

- DX推進のためのビジョンや体制構築などの高い組織力、三重県の共創事業への参画などを幅広く評価。
- 他分野展開型でのDX推進事例として、他企業の参考になるのではないか。

# 近畿総合通信局長賞：株式会社 eWeLL

## 【企業概要】

- 2012年大阪府中央区南船場に設立。在宅医療に新しい価値の創造を行い、すべての人が安心して暮らせる社会の実現に取り組んでいる。自身の事故経験から看護師への恩返しを誓ったのが事業の原点。



## 【主な取り組み】

- **訪問看護の生産性を向上**させる、**クラウド型電子カルテ「iBow」**を開発しSaaSで提供。「iBow」は医療保険と介護保険の両方を扱う訪問看護師の複雑なオペレーションを網羅し、**誰でも簡単に使えるUI・UX**を追求することで、手書きの書類作成などアナログだった日々の業務全般を効率化する。看護師の業務負担軽減で**看護師不足の解消**に寄与するとともに、**訪問看護ステーションの経営安定化**に資する。
- また、カスタマーサポートにも力を入れており、顧客満足度も高い。日々蓄積している**全国的な慢性期医療ビッグデータ**と**生成AI等の最新技術**を駆使し、今後も在宅医療のさらなる課題解決を目指す。

## 【受賞理由】

- DX推進により人手不足を解消するとともに看護ケアの質を高めることで在宅療養者の生活の質向上に寄与するものであり地域の課題解決に大きく寄与している。

# 近畿経済産業局長賞：株式会社ゲートジャパン

## 【企業概要】

- 2005年に設立された京都市の金属加工業。
- 精密金型や金属部品の設計・製作を手掛けるファブレス企業で、多品種・小ロット・短納期・低コストを掲げている。



## 【主な取組み】

- ドキュメント管理システムを導入し、ペーパーレス化と業務進捗管理、情報共有を実現。RPAとシステム内製化を進め、業務プロセスの自動化を図った。
- **自社主導で基幹システム「Genie-us」の構築を企画・導入**。当システムによりファイル管理、メール共有サービスの連携で**作業効率およびお客様満足度が大幅に向上。案件数が2倍増、売上1.8倍増に。**
- 今後は**「Genie-us」を中心としたビジネスモデルの構築**や、**「Genie-us」の販売も視野**に入れて取り組む

## 【受賞理由】

- 業務効率を飛躍的に改善させる基幹システムの開発にとどまらず企業間エコシステムの構築を目指すものであり地域経済の活性化に大きく貢献されるDX推進事例